

世論・選挙調査研究大会の記録

2011年～2023年

第1回 世論・選挙調査研究大会

日時：2011年9月22日（木）

場所：埼玉大学東京ステーションカレッジ（サピアタワー9F）

■セッション1 「出口調査の精度をどう向上させるか」

出口調査（当日・期日前）を、選挙期間全般にわたるトータルな方法と捉え、実際のデータに基づき精度向上の方策を提案する

（司会） 松本 正生（埼玉大学）

（報告者） 神谷 弘行（福井コンピュータ）

石田 禎一・大栗 正彦（中日新聞社）

僧都 儀尚（北海道新聞情報研究所）

■特別企画（ランチ・トーキング）：「調査は科学的か」

世論調査界の碩学西平重喜氏が、調査の科学性や選挙予測について語る

（語り手） 西平 重喜（統計数理研究所名誉所員）

（聞き手） 松田 映二・松本 正生

■セッション2 「世論調査（RDD法）の危機をどう乗り越えるか」

RDD調査の現状と課題について、論点を掲げ、報告者のレポートに基づき議論する

（司会） 松本 正生（埼玉大学）

（報告者） 江口 達也（朝日新聞社世論調査センター）

福田 昌史（毎日新聞社世論調査室）

川崎 英輝（読売新聞東京本社世論調査部）

大栗 正彦（中日新聞社）

（討論者） 松田 映二（埼玉大学）

第2回 世論・選挙調査研究大会

日時：2012年9月20日（木）13時

場所：埼玉大学東京ステーションカレッジ（サピアタワー9F）

■セッション1 出口調査

<報告>

1. 「タブレット端末による出口調査の試行」

大栗 正彦（中日新聞社）

2. 「期日前出口調査の効用と方法論」

僧都 儀尚（北海道新聞情報研究所）

（討論者）福田 昌史（毎日新聞社）

渡辺 久哲（上智大学）

（司会） 松本 正生（埼玉大学）

■セッション2 選挙予測調査

<報告>

「選挙予測の課題－調査手法および運用と予測式の影響を探る－」

松田 映二（埼玉大学・元朝日新聞社）

（討論者） 窪田 知久（読売新聞東京本社）

中西 豊樹（朝日新聞東京本社）

前田 幸男（東京大学）

（司会） 松本 正生（埼玉大学）

第3回 世論・選挙調査研究大会

日時：2013年9月27日（金）13：00～17：00

場所：埼玉大学東京ステーションカレッジ（東京駅八重洲北口：サピアタワー9F）

■研究報告

1. 「ビッグデータ vs 世論調査：ツイッターを多角的に検証する」
中川 純一（もしもしホットライン）
2. 「新しいネット・モバイル調査の試み」
ネット調査はRDD調査を補完できるか 大栗 正彦（中日新聞社）
ネット調査による若年層捕捉の可能性 江口 達也（朝日新聞社）
3. 「順位法予測モデルの試み」
大栗 正彦（中日新聞社）・中谷 亮（北海道新聞情報研究所）

■パネルディスカッション

「朝・毎・読各社世論調査部長が語る：選挙予測と調査のあり方」

パネリスト：中西 豊樹（朝日新聞世論調査部前部長）
三岡 昭博（毎日新聞世論調査室長）
窪田 知久（読売新聞世論調査部次長）

司会：松本 正生（埼玉大学社会調査研究センター長）

第4回 世論・選挙調査研究大会

日時：2014年9月19日（金）13時～17時30分

場所：埼玉大学東京ステーションカレッジ

■第一部 報告

1. 「回収率にみる調査の病状」

松田 映二（埼玉大学社会調査研究センター）

2. 「調査対象者抽出における課題」

中村 美奈子（毎日新聞社）

3. 「内閣府の面接・郵送並行調査の成果－調査報告と携帯限定層の意識分析－」

佐藤 寧（日経リサーチ）

4. 「東京都知事選挙の予測精度－RDD調査と出口調査の比較－」

竹田 健治（中日新聞東京本社）

■第二部 「RDD調査の課題」

報告：各社郵送調査結果に基づく検証－携帯限定層の捕捉を中心に

「携帯限定層の動向－2013年全国20代郵送調査の分析結果から－」

石本 登志男（朝日新聞社）

「携帯限定層の特徴について－2013年時事問題調査（郵送）－」

大隈 慎吾（毎日新聞社）

「週末外出する若者は調査を偏らせるか－RDD調査接触不可能層の分析－」

藤木 康裕（読売新聞社）

ディスカッション

窪田 知久（読売新聞世論調査部長）

堀江 浩（朝日新聞世論調査部長）

山田 道子（毎日新聞世論調査室長）

司会：松本 正生（埼玉大学社会調査研究センター長）

第5回 世論・選挙調査研究大会

大会テーマ「調査の新しい試み ー時代への対応と課題克服のためにー」

日時：2015年9月18日（金）13時～17時

場所：JRサピアタワー9階

■第1部 報道機関の取り組み

1. 電話に“出ない人”は調査を偏らせるか
福田 昌史（読売新聞社）
2. インターネット調査による選挙予測の可能性
江口 達也（朝日新聞社）
3. 「ソーシャル世論」の傾向 ーツイッター分析を基にー
佐藤 航・大隈 慎吾（毎日新聞社）

■第2部 調査機関の取り組み

4. インターネット調査による世論観測の試み
ー「空気」の変化を詳細・迅速に捉えるための発想と実践ー
萩原 雅之（マクロミル総合研究所）
5. インターネット調査の新潮流 ースマホユーザーの増加とその活用可能性ー
二瓶 哲也（インテージ）

■第3部 パネルディスカッション

マーケティング・リサーチャーに問う！インターネット調査の課題と可能性

<オーガナイザー>

松田 映二（社会調査研究センター）

<パネリスト>

太田 哲生（内閣府大臣官房政府広報室参事官・世論調査担当）

長崎 貴裕（インテージ執行役員 MCA事業本部長）

萩原 雅之（マクロミル総合研究所所長／トランスコスモス・アナリティクス取締役副社長）

平田 崇浩（毎日新聞社世論調査室長）

堀江 浩（朝日新聞社世論調査部長）

<司会>

松本 正生（社会調査研究センター長）

第6回 世論・選挙調査研究大会

大会テーマ「課題への挑戦 ―郵送・電話・ネット調査での取り組み―」

日時：2016 年 9 月 16 日（金）13：00～17：30

会場：東京駅サピアタワー9階

■第1部 発表

1. インセンティブの違いが調査協力および回答内容に及ぼす影響 ―金券と寄付の事例―
大隈 慎吾（毎日新聞社）
2. 年代・エリアを限定したネット調査の課題 ―18・19歳×中部エリアの事例―
弓削 雅人（中日新聞社）
3. PC・スマホの調査画面における回答方法の考察 ―アイトラッキングによる検証―
齊藤 ひとみ・二瓶 哲也（インテージ）
4. インターネット調査によるセンチメント観測 ―消費動向・景気見通しからみえる傾向―
村上 智章・萩原 雅之（マクロミル総合研究所）
5. 「第24回参議院選挙の議席数予測を振り返る ―Yahoo! JAPANビッグデータレポート―
安宅 和人（ヤフー）

■第2部 パネルディスカッション

「RDD調査の現状と今後 ―携帯電話番号を対象にする場合の課題―」

読売新聞、日経新聞、朝日新聞が、携帯電話番号も対象にした全国世論調査を始めた固定電話を持たずに携帯電話だけを持つ携帯限定層の増加に対応した形である

なぜいま携帯電話番号も対象にしなければならないのか（カバレッジ・エラー対応）携帯電話番号も対象にすると回収率が低下するのでは（ノンレスポンス・エラー対応）固定電話と携帯電話では運用手順が変わる（メジャーメント・エラー対応）調査誤差にかかわる課題について各報道機関の調査法開発担当者と議論する

<オーガナイザー> 松田 映二（社会調査研究センター）

<パネリスト> 福田 昌史（読売新聞社）、江口 達也（朝日新聞社）
大隈 慎吾（毎日新聞社）、佐藤 寧（日経リサーチ）

<司会> 松本正生（社会調査研究センター長）

第7回 世論・選挙調査研究大会

大会テーマ「調査の終焉か、黎明か。－課題と新しい試み－」

日時：2017年9月22日（金）13時～17時30分

場所：毎日新聞社・毎日ホール

■ごあいさつ

松本 正生（埼玉大学社会調査研究センター長）

丸山 昌宏（毎日新聞社社長）

■第1部 発表

1. 「郵送とインターネットの複合調査－毎日新聞社と埼玉大学の試み－」
大隈 慎吾・原田 和行（毎日新聞社）
2. 「オートコール方式による携帯RDD調査－北海道限定での試み－」
中谷 亮（北海道新聞情報サービス）
3. 「Google Surveysと有権者名簿抽出ネット調査－朝日新聞社の新しい試み－」
齋藤 恭之（朝日新聞社）
4. 「TV視聴予測における真実申告メカニズムの活用－調査参加経験のデザイナー－」
小野 滋（インサイト・ファクトリー）

■第2部 パネルディスカッション

「マスコミ世論調査」の内と外－世論調査はいつまで続けられるのか－

<パネリスト> (50音順)

島田 敏男（NHK解説副委員長）

鳥山 忠志（読売新聞東京本社世論調査部長）

平田 崇浩（毎日新聞社論説委員）

堀江 浩（朝日新聞社編集委員）

<司会>

松本 正生（埼玉大学社会調査研究センター長）

第8回 世論・選挙調査研究大会

大会テーマ「調査の新潮流－Webとモバイルと市場・世論・選挙調査－」

日時：2018年7月20日（金）13時～17時30分 場所：毎日新聞社・毎日ホール

■ごあいさつ

松本 正生（埼玉大学社会調査研究センター長）

丸山 昌宏（毎日新聞社社長）

■第1部 インターネット調査における課題

1. インターネット調査の課題と品質向上に向けた取り組み

－持続可能な調査環境を目指して－

日本マーケティング・リサーチ協会 インターネット調査品質委員会

2. モバイル動向調査でみる回答の傾向の差異

鈴木 孝幸樹（NTTドコモ・モバイル社会研究所・担当部長）

3. Issues for Mobile Research

Ray Poynter (Managing Director of The Future Place/Chair of the Festival of NewMR)

■第2部 2017年衆議院選挙における課題

4. 2017年衆議院選挙予測における課題－報道と結果の比較による考察－

松田 映二（埼玉大学・社会調査研究センター・准教授）

5. R D I Tを用いた非パネル無作為抽出によるWeb調査の可能性

－2017年衆議院選挙のトラッキング調査による考察－

岸田 典子（クロス・マーケティング・チーフリサーチャー）

6. ネットリサーチを用いた有権者の選択反応実験の試み

村上 智章（マクロミル総合研究所・研究員）

7. 有権者個人の支持政党変化は予測できるか

－レスポンス・レイテンシーを用いた新指標の提案－

久内 佑允（インテージ・シニアアナリスト）

二瓶 哲也（インテージ・IT企画グループリーダー）

■第3部 パネルディスカッション

Webとモバイルを活用する調査の可能性と課題

総合司会：松本 正生（埼玉大学・社会調査研究センター長・教授）

議題提供：松田 映二（埼玉大学・社会調査研究センター・准教授）

MR関係者：萩原 雅之（トランスコスモス・アナリティクス取締役副社長／マクロミル総合研究所所長）

長崎 貴裕（インテージ執行役員 開発本部長／インテージホールディングスR&Dセンター長）

報道関係者：吉山 一輝（読売新聞社世論調査部長）

前田 直人（朝日新聞社世論調査部長）

鬼木 浩文（毎日新聞社世論調査室長）

第9回 世論・選挙調査研究大会

大会テーマ「調査法の課題と対策 一新標準を目指す試み」

日時：2019年9月21日（土）13：00～17：30／懇親会 17：45～

場所：毎日新聞社・毎日ホール

■ごあいさつ

松本 正生（埼玉大学社会調査研究センター長）

丸山 昌宏（毎日新聞社社長）

■第1部 発表

1. 無作為抽出によるWEB式世論調査の可能性

萩原 潤治（NHK放送文化研究所・世論調査部）

2. 地図抽出による確率標本に対するネット調査 ー誰が調査に協力するのかー

飯田 健（同志社大学法学部）・池田 謙一（同志社大学社会学部）

西澤 由隆（同志社大学法学部）・松林 哲也（大阪大学大学院国際公共政策研究科）

3. アクセスパネルを利用したインターネット調査で選挙予測は可能か

ー2018年沖縄県知事選、19年山梨県知事選の事例ー

江口 達也（朝日新聞社世論調査部）

4. 質問・選択肢配置が回答に及ぼす影響 ー「目で見ると」調査のバイアスをとらえるー

松田 映二（埼玉大学社会調査研究センター）

■第2部 パネルディスカッション

「出口調査、世論調査、まだ大丈夫だったか？」

1. 当日出口調査の精度検証

事例報告：山下 洋史（中日新聞社）

2. 電話世論調査の精度検証

論点提示＋討論者：菅原 琢（政治学者）

討論者： 堀江 浩（朝日新聞社）

大隈 慎吾（毎日新聞社）

福田 昌史（読売新聞社）

鈴木 督久（日経リサーチ）

総合司会：松本 正生（埼玉大学社会調査研究センター）

第10回 世論・選挙調査研究大会

大会テーマ「世論・選挙調査の条件」

日時：2020年9月18日（金）13：30～16：00

埼玉大学社会調査研究センターよりZoom（Zoom）でリアルタイム配信

■あいさつ

松本 正生（埼玉大学社会調査研究センター長）

■第1部 発表

1. フジ・産経事件の教訓

鈴木 督久（日経リサーチ）・堀江 浩（朝日新聞社）

2. 新型コロナ拡大下での出口調査

川本 俊三（朝日新聞社）

■第2部 発表&討論

1. 「ノン・スポークン調査」の方法と品質

大隈 慎吾（社会調査研究センター）

2. オートコール調査による世論観測 — 代表性のないサンプル調査・その活用法の再確認 —

佐藤 寧（日経リサーチ）

討論 「社会の変容と調査の転換」

司会者：堀江 浩（朝日新聞社）

討論者：鈴木 督久（日経リサーチ）

松本 正生（埼玉大学社会調査研究センター）

第11回 世論・選挙調査研究大会

大会テーマ「2021 総選挙：情勢調査の岐路」—選挙予測の戦国時代—

日時：2021年12月10日（金）13：30～16：00

オンライン開催（Zoomによる生配信）

■はじめに

埼玉大学社会調査研究センター 松本 正生

■発表

1. 報道各社選挙予測のパフォーマンス比較

大栗 正彦（福井コンピュータスマート）

2. 21年衆院選情勢調査の設計について —なぜネット調査を導入したのか

江口 達也（朝日新聞社世論調査部）

3. 毎日新聞社における選挙予測調査の方法と精度

佐藤 航（毎日新聞社世論調査室）

4. 読売新聞社の情勢調査

福田 昌史（読売新聞社世論調査部）

5. 新調査「dサーベイ」の方法と精度

大隈 慎吾（社会調査研究センター調査研究部）

第12回 世論・選挙調査研究大会

大会テーマ「選挙をめぐる調査と報道」

日時：2022年9月30日（金） 13：30～16：30

オンライン開催（Zoomウェビナーによる生配信）

■はじめに

松本 正生（埼玉大学社会調査研究センター）

■第一部 報告

1. 参院選情勢調査：報道各社の方法比較

大栗 正彦（福井コンピュータスマート）

2. 朝日新聞社の参院選情勢調査について

江口 達也（朝日新聞社世論調査部）

3. SSRC「dサーベイ」の方法と精度

平田 崇浩（社会調査研究センター調査研究部）

■第二部 討論

「選挙をめぐる調査と報道」

討論者：今市 憲一郎（TBSテレビ 報道局編集主幹）

小山 優（神戸新聞社 編集局次長兼報道部長）

堀江 浩（元朝日新聞社 編集委員）

司会者：松本 正生（埼玉大学 名誉教授）

第13回 世論・選挙調査研究大会

大会テーマ「ポストRDD時代と選挙報道」

日時：2023年9月8日（金） 13:30～17:00

会場：埼玉大学 大学会館3階 大集会室

■開会のスピーチ

坂井 貴文（埼玉大学学長）

■第一部〔報告〕

1. 「インターネット調査による地方選挙情勢調査の可能性」

江口 達也（朝日新聞社世論調査部）

2. 「2022年参議院選挙におけるインターネット調査と予測手法の検討」

福田 昌史（読売新聞東京本社世論調査部）

3. 「統一地方選・衆参5補選で進化したdサーベイ」

平田 崇浩（社会調査研究センター調査研究部）

■第二部〔討論〕

「選挙報道のゆくえ」

討論者：杉田 淳（NHK報道局選挙プロジェクト副部長）

堀江 浩（元朝日新聞編集委員）

司会者：松本 正生（埼玉大学名誉教授）

■閉会のスピーチ

講評をかねて 前田 浩智（毎日新聞社主筆）